



# 新年のご挨拶を申し上げます



農事組合法人 庄内協同ファーム  
代表理事 今野裕之

あけましておめでとうございます。  
去年までの2年間は新型コロナウイルスが世界中に蔓延しあらゆる活動が制限され、今までの常識が通用しなくなった2年間でした。

しかしワクチン接種が進むにつれて去年の後半からは緩やかではありますが経済が動き出しました。今年はそのような年になるのでしょうか？行動制限は解除されると思いますがコロナ禍以前に戻ることは難しいのではないかと感じます。

農業に於いては特に稲作農家ですがコロナ禍の影響を大きく受けて価格が60kgあたり2000円強下落しました。肥料などの資材は今年15%くらい値上げになる予想です。保証制度はあるものの離農する農家が出てくるかもしれません。世間では10年で緩やかに変化していく事がコロナ禍で一気にやって来たといわれています。ピンチをチャンスに変えられるかピンチのままにするのかは農家自身です。

コロナ禍の中で感じた事は健康に対する意識が高くなったのではないかとことです。有機食品は健康食品店や専門店での取り扱いが多かったのですが、今では量販店などにコーナーが設けられ普通に売られている光景を目にするからです。

人間にとって一番大切なのは空気です。空気が無いと、大体の人間は2/3分で大変なことになると思います。世界中が環境負荷軽減の方向に向かっています。急激な変化は私たちの生活に影響を与え無理を強いる事になると思います。再生可能エネルギーや今やれる事をブラッシュアップしながら負荷を軽減し、目標年に目標値をクリアする政策が必要でしょう。一つだけの対策ではなく多種多様な対策が必要だと私は思います。

2番目は食料です。人は食べる事で健康になり生きていくことができます。同じ食べるなら健全に育ったものを食べた方が、免疫力は上がり病気やケガに強くなると思います。食料に関しては新しい政策として「みどりの食料システム戦略」がスタートします。その中に「2050年までに有機栽培の取組面積割合を25%、100万haに拡大する」というものがあります。取組方針は出しましたが具体策はまだです。今後どのようなものか、30年以上有機栽培に取り組んでいる私たちにっては注目すべき政策です。

農業の環境負荷軽減として化学肥料、農薬、生態系に影響のある資材の削減等があります。究極的には「有機栽培」だと私は考えます。農機具は私たちの手には負えないのでメーカーの開発を待ちたいです。皆様からは環境に配慮した商品を積極的に選んでいただきたいと思えます。そうする事が生産者へのメッセージになります。

庄内協同ファームは「豊かな自然環境を大切に安全と美味しさを求めて」をモットーにやってきました。時代がやっとならぬ私たちに追いついてきました。追い越されないようにしては「笑」  
これからも庄内協同ファームは「ムラとマチと地域」を結び皆様とともに歩んでいきます。  
今年もよろしくお願ひ致します。  
令和四年 元旦



## 「柿があったから」

干し柿を作る理由は至ってシンプルだがここに一個の干し柿があるということのなんと饒舌なことよ  
幾重にも続く柿と人との四季の営み  
豊穡の味がここにある



ご注文・お問い合わせ先  
農事組合法人 庄内協同ファーム  
TEL: 0235-78-2120 FAX: 0235-78-2140  
http://www.shonaifarm.com  
餅と漬物の特集は、バックナンバー 180号、183号をHPにてご覧いただけます。

### 干し柿5名様限定プレゼント!

QRコードからアクセスしアンケートにお答えいただいた中から5名様に「干し柿」1袋を郵送にて発送させていただきます。  
アンケート応募締め切りは2022年1月31日、当選は発送をもってご連絡とさせていただきます。プレゼントは2月15日までにお届けする予定となります。

※応募多数の場合は抽選となります。  
※個人情報に関しては商品の発送のみに利用させていただきます。  
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



アンケート回答はこちら



写真はイメージです





# 干し柿

〜時が育む冬の甘味〜

庄内協同ファームの干し柿部会  
員は2軒。平地と山手、異なる栽  
培条件の元で受け継がれてきた、  
柿の栽培から干し柿作りまでをこ  
紹介します。

## 友人に代わって始めた 干し柿作り

和子…おじいちゃんかずと柿をやってたんだけど、亡くなってからは私が管理するようになって。やっぱり皮が汚い外品が結構いっぱいあっての。干し柿部会の生産者が少なくなっただけでもあったし、うちの柿の外品をどうしようかってこともあったし、その辺が干し柿を始めたいきっかけだの。

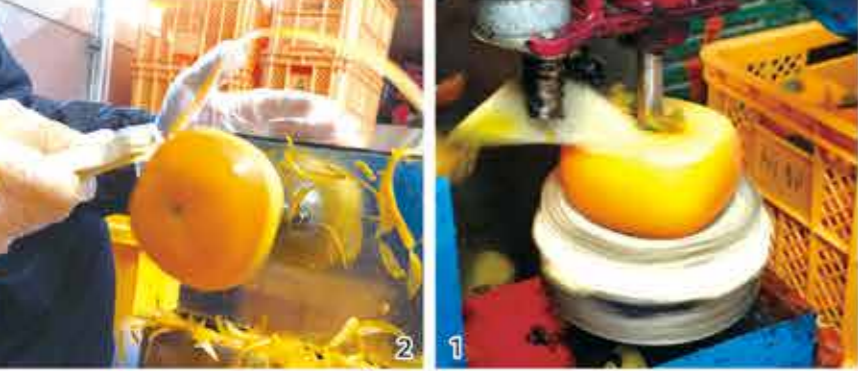
修一…干し柿部会の中心だった生産者が亡く



組合員の芳賀修一(右)、和子(左)  
今年の柿について「春先の霜害や収穫直前の霜害で例年より大幅に収穫量が減ってしまった」と語る場面も。

## 祖父から孫へつながった 干し柿作り

修一…俺は関東でサラリーマンをしてたんだけど、兄貴の体調が悪かったんで単身赴任して手伝いに来てたのね。10年前に息子が就職するのをきつかけに柿を全部任せたわけよ。まゆみ…真也君は埼玉生まれ埼玉育ち。大学では食物生産とか土壌とか化学の方を勉強してきたけど、まさか農家をやるとは(笑)真也…父の実家の農業規模が元々大きかったんで、それをそのまま引き継いだ形で。



やる理由はそこに柿があったからっすね

おれ実ば柿食へないんだよ…

私は味覚と薬が効いて食へてますよー

なっただけから、生柿の出荷はやってたので、当然外品も出ていて、やってみないかという感じ。

和子…最初の年は、干し場が無くてカビが生えて失敗したな。もう全然…

修一…火力乾燥ではなくて自然乾燥を基本としてるもんだから。雨続きだったからの、換気しても空気が動かないっていうのが、結果的に温度が高かったたので、カビのために干し柿が腐ったの。

和子…今年で8年目になるけど、やっと落ち着いてきた。

## おじいちゃんを感じる樹 何とか残せれば

修一…原料そのものの柿をどうやって続けるかっていう、それが一番肝心だよ。私も実は、親が植えた柿なので、親父がやらないってなった時には切っちゃおうかと思つたなや。和子…この人何年も手出さなかつたな。おじいちゃんも亡くなってからも。

修一…結果的にはそのまま出荷する格好で干し柿まですることで、親が植えた樹を利用しててもらってるっていうか。うち自体の課題でもあるし。せつかく何十年もかけて育ってきたものだから、活かして欲しいという気持ちはある。労力的な問題もあって、これ以上増やすというのは考えていないんだけど。ただ、周りの人はみんな柿を切つてとんどん少

## 干し柿ができるまで

真也…まず収穫してきた柿を「ヘッター」(写真1)というヘタ取り機に乗せて、レバーを下げるとヘタ周りがきれいになるんですよ。次にこの「ムック」(写真2)という機械はスイッチを入れると空気を吸って、柿を刺さずに吸引して固定してくれるんですね。ペダルを踏むと回るので、ピーラーを当ててヘタ周りが剥くんですよ。皮が剥けたら10個で一本になるようビニール紐に固定する。それ以外のハウスに干すと。

1ヶ月位干したら揉むんですよ。それまでは明るい茶色なんですけど、1回揉むと結構



なくなってる状況なので、そういう意味ではもったいないなあって。

和子…柿って良い作物って言えばいいか、切ればまた新しい枝が出てくるから、わりと気にしないで切つても大丈夫。おじいちゃんの剪定だったから盆栽仕立てなの。普通は大きい幹から3本とか枝出してつるすけど、おじいちゃんのは枝を戻したりカクカクつてなってるの。よっぽど剪定したけど、まだ高い樹が何本もあるの。収穫する時や剪定する時に、おじいちゃんの思いや存在を感じるよの。修一…「なんだや」って言いながら(笑)

黒くなるんですよ。乾燥具合の目安に金属探知機が結構使えるんですよ。金属は関係ないんですけど、水分値も干渉するらしくて、水分値が高いと鳴るんですよ。人間の感覚で狂うじゃないですか。でも金属探知機の数値で見ても。

まゆみ…例年大体こんな硬さで、というのを目安にしています。粉が吹くまで干しておいても良いと思うんですけど、後が待っているんで(笑)。それに、今はデザート感覚で半生みたいな柔らかいのが美味しいって評判みたいですよ。

## 庄内柿と共に 永く歩むために

真也…今年は5人くらい若い研修生さん達から収穫の手伝いに来ていただきました。皆さん希望に満ち溢れた方々ばかりで、庄内柿を栽培したい若い人はかなり珍しい。でも、やっぱり生柿の生産だけでは「お金にならないよ」って皆から言われるそうなんです。

まゆみ…だけど、干し柿まで加工すればしっかり収益にもなるし、柿も廃棄しないで無駄なく商品にすることが出来る。生産者としてはせつかく作った柿を廃棄しないで良いだけでも、気持ち的に凄く良いですよ。

真也…うちの爺ちゃんとかは、休みなくずっと仕事するタイプだった。昔の人は皆そうだったと思うけど、どうしても膝や腰を悪くして、日常生活に支障が出てしまう。農家は体が資本なんで、これから農家を目指す若い人には、余裕を持って体を大事にしてほしい。生きてる限り農家をやるように！



写真1~4:干し柿加工の工程。1人1工程を担当しており、インタビュー中も作業機械の音が小気味よく響いていた。

集合写真:協力組合員の阿部真也さん(左)修さん(中央)まゆみさん(右)  
真也さんとまゆみさんは大学卒業後、庄内に移り住んだ。  
※安全に配慮しながら撮影時のみマスクを外しています

柿の干し方も家庭で受け継がれた特徴が出ている(右:芳賀 左:阿部)